

市民病院だより

地域と共に考える医療



皮膚科 山田 益丈 よしじょう



母校の愛知医科大学病院皮膚科で研鑽を積み、このたび市民病院皮膚科に2人目の常勤医として異動してまいりました。皮膚科のトラブルや症状に関することであれば、何でもご相談ください。スタッフ一同「説明と納得」のいく治療を行ってまいります。

湿疹・皮膚炎から皮膚感染症、皮膚腫瘍、自己免疫性疾患に至るまで、全ての皮膚疾患の治療を行っております。診断の難しい疾患に関しては、皮膚の一部をとる皮膚生検による病理学的診断により適切な治療をするように心がけております。

また、副作用の少ない塩化アルミニウム外用剤による局所多汗症の治療や粉瘤の手術において比較的小さな傷ですむ「くりぬき法」をはじめとする皮膚腫瘍の口帰り手術にも力をいれております。アトピー性皮膚炎の治療は外用療法を基本とし、症状に応じた外用指導、生活指導を行うようにしております。尋常性乾癬に対しては外用療法を主体に行い、重症例では内服療法や紫外線療法

の治療も行っております。

皮膚科においても入院が必要となる場合が多々ありますが、当院の地域における役割を考慮し、できるだけ応需するように心がけております。具体的には帯状疱疹・蜂窩織炎などの急性感染症・アトピー性皮膚炎の急性増悪・薬疹・水疱性類天疱瘡などの自己免疫性疾患などです。確実な治療を行い患者さまの負担を和らげるために、入院して原因検索・治療を行っております。

また、地域支援病院として地域の開業されている先生方からの紹介患者を診療・治療することを重視しています。特に皮膚科を専門としない先生方からの基本的な皮膚疾患に関する紹介患者を歓迎いたします。患者が「安心した」「受診してよかった」と満足できる医療を目指しております。

どうぞお気軽に外来をお尋ねください。

問 市民病院 TEL 22-52211

教育最前線!

問 教育研究所 前田 TEL 23-5920

第24回 多治見市連合生徒会交流会

～中学生が集い、暑い夏に、熱く語り合う!～

8月上旬、連日の酷暑が報じられる中、『第24回 多治見市連合生徒会交流会』を実施しました。この交流会は、「将来の多治見市を担う中学生が、各学校の実践を交流したり講演を聴いたりする活動を通して、生徒会活動の充実を図るとともに、まちづくり意識を高める」ことをねらい、年2回実施しています。また、今回は、とうしん学びの丘エールと地球村を会場に宿泊研修を行い、市内8中学校から35人のリーダーが集いました。

第1日目は、若きリーダーに向けた古川市長の熱いメッセージに始まり、「ドリマ先生」を講師に、*ドリームマップ授業に取り組みました。完成したマップの発表後には、「自分が夢を叶えることで、周りが笑顔になったり社会がよくなったりすることが分かり、夢を叶えたい気持ちが強くなりました。」などの感想を述べていました。



ドリームマップの作成

第2日目は、生徒会活動の実践交流を行いました。各学校の特色ある取組についてのプレゼンをもとに、互いの活動を認めながら活発な意見交流が展開されました。交流会後には、「活気ある討議が楽しかったです。自校の活動にも新たな目標が設定できたので、それに向かって学校を高めていきます。」などの感想を述べていました。



生徒会活動の交流

2日間の交流会は、今後の生徒会活動の共通テーマを設定して幕を閉じました。災害級の暑い夏に、熱く思いを語る中学生の姿には、多治見市の将来を担う“人財”へとつながる確かな成長を感じることができました。

*ドリームマップ授業=肯定的自己理解からスタートし、未来への希望をもって「夢を描き・信じ・伝える力」の育成を目的とするキャリア教育